



農林水産業の振興（施策3-1-2）

【目指す姿】

優良な農地や森林、漁場環境等の生産基盤の維持と担い手の確保・育成により、持続的な農林水産業が営まれています。また、地元の農林水産物や職業としての農林水産業の魅力が広く認知され、活気のある産業となっています。

《取組方針》

生産体制の充実 3121

農業の担い手への農地集積を促進し、効率的な生産体制を整備するため、農地の区画整理や生産機械の導入、遊休農地の解消、鳥獣被害の防止などを推進します。

また、森林環境税を活用した森林の整備や林道の管理、稚魚放流や漁場環境の改善による水産資源の回復、漁業施設の整備を図ります。

生産振興と担い手の確保・育成 3122

農林水産業が魅力とやりがいのある業種となるよう、生産基盤を拡充し、新たな作付け品目の選定や先進的な生産技術の導入等による農業生産の安定化・高度化の支援、多様な人材が農業に積極的に関わる仕組みづくりを推進します。

また、林業、水産業についても、新たな技術者や事業者の確保・育成に取り組みます。

生産から販売、消費に至るまでの食料供給を持続可能なものとするため、環境負荷を低減させる環境保全型農業や水産資源の持続的利用に向けた資源管理を推進します。

地産地消の推進 3123

市内で生産された農林水産物が市民に選ばれ、消費の拡大につながるよう、小・中学校の給食時間やスーパーマーケットの店頭など、様々な機会を活用して、食材の地産地消、地元木材の活用方法等に関する情報発信を推進します。

また、農業体験教室や親子水産教室の開催、市民農園の利用促進などにより、地元の農林水産物に対する市民の理解の促進・愛着の醸成を図ります。

市場施設の充実や物流機能の効率化、品質・衛生管理機能の高度化など、生鮮食料品等の流通を強化するため、青果棟と水産物棟の再整備を推進します。

また、農林水産物の安定的・効率的な取引と円滑な流通を通じて、市内食品産業を活性化させるため、卸売市場と食肉センターを適切に管理・運営します。

【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
市内の農業産出額	116.8億円(R3)	124.5億円	↑
地元の食材を意識して購入している市民の割合	31.0%(R4)	38.0%	↑

【主な取組事業】

◎ スマート農業推進事業

AI、IoT・ロボット等の先端技術を活用することにより、農業経営における生産性を高め、収益力の強化を図るため、認定農業者や新規就農者等の農業経営の高度化に必要なデジタル技術の活用を支援します。

◎ 農福連携推進事業

農業を希望する障がい者等の活躍の場の創出・拡大を図るため、関係機関と連携し、農業者と社会福祉施設とのマッチングの促進や意識啓発に取り組みます。

◎ 卸売市場整備事業

生鮮食料品の流通拠点施設として、卸売市場の機能強化を図るため、現代の物流に対応したスペースの確保や適切な温度帯管理、環境負荷の低減等に対応した青果棟と水産物棟の再整備に取り組みます。



IoTを活用した水田の水位管理



青果棟の整備イメージ